



県広報

1984/10 No. 189



クロスアップスポーツ

— 第一回全国ビーチバレーボール親善交流会 —

富山県で生まれた新しいスポーツの一つ、ビーチバレーボール。このほど初めての全国大会が発祥の地、朝日町で開かれました。今から五年前、町民一人一スポーツを目指して、朝日町の体育指導員の皆さんが考案しました。ビニール製のビーチボール、バトミントンのネットが道具です。バトミントンコートは広さと八人そろえば、ゲームができます。子供からお年寄りまで誰でもそして狭い所でも手軽に、安全に楽しめるスポーツです。

県もPRに努め、地元はもとより全国に普及して、今では二十六都道府県にビーチバレーボールのチームができました。

九月二十三日、朝日町民体育館で開かれた大会には、全国から百十九チームが参加、性別、年齢別の五つのゾーンに分かれて、熱戦を展開しました。

「親善交流会」だけあって、笑顔のたえない和気あいあいのゲーム展開でした。

ビーチバレーボールは、運動不足になりがちな中高年にも手軽に楽しめます。あなたもいかがですか。



▼物産展示館になっている旧井波駅

旧加越能鉄道井波駅前を降りると、ブーンと乾いた木の香りがします。ここは木彫の里、瑞泉寺に通じる情緒あふれる古い町並を歩けば、あちらこちらから、トントンとノミを打

シリーズ — 富山を歩く⑥

あなたのふるさと

— 井波町瑞泉寺通り —
ずいせんじ



▲木彫で飾られた瑞泉寺の山門

つ音も聞こえてきます。二百年の歴史をもつ井波彫刻は、富山県の誇る伝統工芸。特に荒彫りから仕上げまで、二百丁ものノミを巧みに使いわけ、花や鳥、風景などをクスノキの厚板に立体的に深彫りした欄間は、他の追随を許しません。瑞泉寺の門前の通りの両側には、数多くの工房が軒をたらし、ひたすら木に取り組み職人たちの姿は、いつまでも見あきるところがありません。

し、その都度再建されてきました。だが、江戸時代中期の再建の際、京都から派遣された彫刻師が伝えた技が、今日の井波彫刻の発祥だったといわれます。瑞泉寺の本堂はもとより、門、廻廊、太子堂など至るところに素晴らしい彫刻が施されています。

▼若い後継者の育つ井波彫刻



さてこの木彫は、瑞泉寺と深いかわりを持っています。かつては一向一揆の重要拠点としてこの地方に一大勢力を有していた瑞泉寺は、今も浄土真宗大谷派井波別院として全国から信者を集める大寺院です。この大伽藍は何度か焼失

ています。なお井波町には、越中一の宮高瀬神社、砺波散居村の一望でさる閑乗寺公園、芭蕉塚(翁塚)の黒髪庵など、見て歩いて楽しく興味深い所がたくさんあります。

秋の一日、ゆっくりと文化の香り高い井波町を歩いてみませんか。

このコーナーでは、読者のみなさんのふるさとを紹介した写真と原稿をおまちしています。ふるってご応募ください。

●送付先
〒930 富山市新総曲輪一番七号
県広報課
「あなたのふるさと」係
わたしのふるさと」係

10月号 ● もくじ

クローズアップ にこにこスポーツ—— 1	きょうから始める健康づくり—— 12・13
順調に歩みはじめました	安心して再就職するために—— 14・15
わたしたちの新世紀—— 2~5	くらしの情報コーナー—— 16・17
長年の経験と知恵を生かしたい—— 6~8	トピックス—— 18・19
県民大学校秋季講座—— 9	お知らせ—— 20
ふれあいフェスティバル'84 —— 9	特産王国とやま
TOYAMA JUST NOW	大沢野イチジク—— 表3
神岡鉄道 おくひだ号—— 10・11	



(表紙の写真)
学校花壇コンクール
1位 宇奈月中学校



未来をひらく



県民の決意 (58.5.9)

順調に歩みはじめました

わたしたちの新世紀

富山県民総合計画の実績

昭和五十八年春、県民の英知を集めて生まれた新しい県づくりプラン「富山県民総合計画」策定されて、もう一年半が経過しました。

この間、県民の皆さんの積極的な参加と協力をいただき、「活力と温かい心に満ちた美しいふるさと」の実現を目指して、県は、総力をあげて取り組んできました。

県では、県民総参加による県づくりを円滑に進めていくために、毎年度、計画の成果を調べるなど、適切な進行管理を行い、その結果を県民のみなさんにお知らせすることにしていきます。

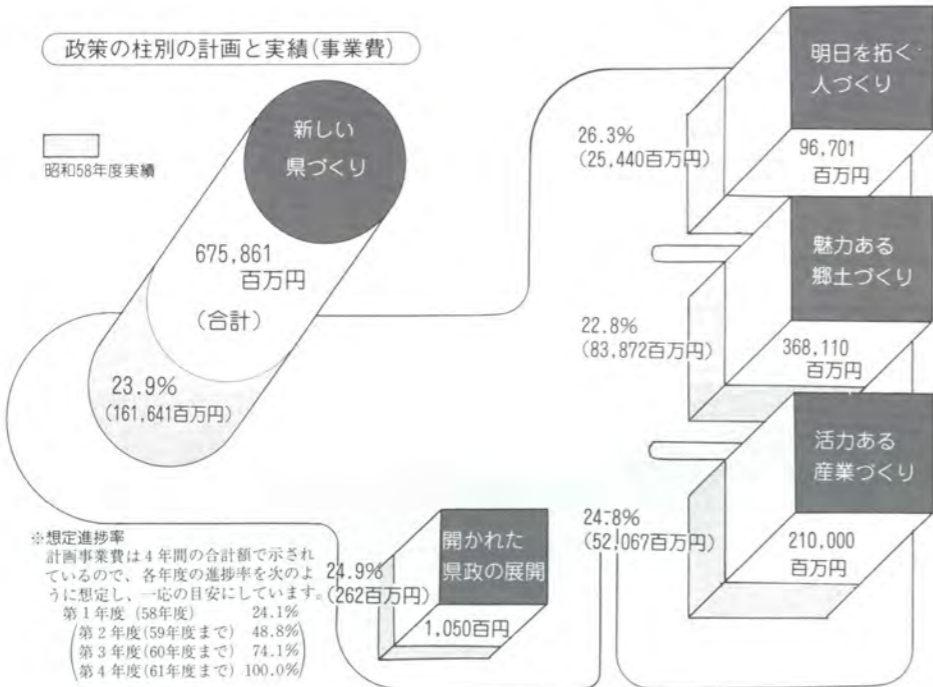
進捗率は三三・九%

昭和五十八年度の事業実績を振り返ってみますと、全体として新世紀へのスタートの年にふさわしく、多数の県民の皆さんの参加と協力のもとに、計画に盛り込まれたさまざまな施策、事業は、着実かつ順調に進展しています。

三大政策別にみると、「明日を拓く人づくり」二六・三%、「魅力ある郷土づくり」二二・八%、「活力ある産業づくり」二四・八%となっております。特に「人づくり」と「産業づくり」については、想定進捗率

事業実績の特色

計画にそって、数多くの事業が順調に進捗しています。新しい県づくりのため、特色ある事業が、各部門で実施されました。進められた調査研究・プラン



づくり

重要な施策や事業については、その基礎となる数多くの調査研究やプランづくりが、積極的に進められました。そのために県民の皆さんの代表や専門家の方々をメンバーとした様々な委員会も作られました。

●多くの新しい事業もスタート
 計画の実現化のために、多種多様な新しい重点事業もスタートしています。行政と住民が一体化したまちづくり、地域づくりが始まりました。民間の力を生かす事業も増えました。

●大きなプロジェクトが展開
 長年にわたる困難な懸案が、相次いで解決、豊かな暮らしの実現に大きく前進しました。

公共事業抑制の厳しい状況のなかでも、北陸新幹線建設にむけて準備が着々と進展。また活力ある富山県のけん引と期待される富山テクノポリス計画も、今春国の承認をうけるなど、新しい県づくりの重要プロジェクトが、次々に実現しつつあります。(次ページの表を、ご覧ください。)

■ 昭和58年度事業実施の特色

	調査研究・プランづくり	
	新たな組織の設置	新たな調査の
明日を拓く人づくり	<ul style="list-style-type: none"> 総合的スポーツ・レクリエーション振興プランの策定 (生涯スポーツプラン策定委員会 58.4) 痴呆性老人対策についての総合的な調査研究 (痴呆性老人対策研究会議 58.6) 立山風土記の丘環境整備計画の検討 (立山風土記の丘環境整備計画策定委員会 58.9) など 	<ul style="list-style-type: none"> 新大学構想の検討 総合博物館の査
魅力ある郷土づくり	<ul style="list-style-type: none"> グリーンプラン(県土緑花計画)の策定 (緑花計画策定委員会 58.6) 総合雪対策の調査、研究 (総合雪対策研究会議 報告書提出 58.12) 地域エネルギーの積極的な開発利用 (ミニ水力発電開発委員会 58.10) など 	<ul style="list-style-type: none"> 富山駅周辺整の調査 道路網整備計査
活力ある産業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 技術立県をめざす科学技術振興の方向の検討 (科学技術会議 58.11) 地域に即応した高度情報化社会への調査研究 (高度情報システム研究会 58.11) 栽培漁業基本計画及び地域栽培漁業整備計画の検討 (栽培漁業推進協議会 59.3) など 	<ul style="list-style-type: none"> 薬事研究所の想調査 公社栽培漁業一の建設調査
開かれた県政の展開	<ul style="list-style-type: none"> 情報公開制度導入についての調査、検討 (情報公開検討委員会 58.6) など 	

県民の総力で成功、
置県百年記念事業

昭和五十八年は、置県百年の年でした。九十三にのぼる記念事業、イベントが展開され、県民の皆さんの積極的な参加と協力によって、意義ある成果をあげることができました。

主な記念事業は、いきいき富山観光キャンペーン、置県百年記念式典、未来をひらく県民の決意(置県百年宣言)、につぼん新世紀博覧会、万葉シンポジウム、第一回富山国際アマチュア演劇祭、

全国地域婦人団体研究大会、第七回全国育樹祭、富山のあゆみ展、婦人と青少年の国際交流のつどい、高齢者ゲートボール大会、全国ジュニアオリンピック夏季水泳競技大会、県内一周駅伝競走大会、置県百年記念映画「風と心と」、無雪害まちづくりシンポジウム、置県百年記念財団設立など。

紹介しましたが、この他にも数多くの事業が展開されています。県民のみなさんが独自の力でやっておられるもの、あるいは行政との積極的な協力のもとに推進された事業、国や市町村によって推進されたものなど。富山県は、いま、新しい県づくりの方向にそって着実に第二世紀の歩み始めております。

県が事業の実施に深く関与しているものを中心に、その概要を

あなたの力が
新世紀のエネルギー

これから県民の皆さんと、手と手を結び合い、素晴らしいふるさとの実現するために、勇気と情熱をもって努力を重ねていきたいと思います。

	新規・重点事業	懸案の解決等により着手・完成	国等への働きかけにより前進
開始 調査、 基礎調 など	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者社会復帰推進モデル事業の推進 ボランティア基金の造成 公共施設等への文化性導入 (文化的環境づくり委員会 58.7) など 	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育センター・大体育館の竣工(59.3) 県民公園・太閤山ランドと新港の森の開園(58.7) 有峰ふるさと自然公園有峰湖国民体養地の着工(58.7) 国立立山少年自然の家の開所(58.9) 心身障害児総合通園センターの着工(58.8) 志貴野苑(重度身体障害者収容授産施設)の竣工(59.3) 新設3高校とにかわ養護学校の開校(58.4) 情報教育センターの着工(59.3) 国立高岡短期大学の開学(58.10) 富山空港線、鳳鳴橋等の完成(59.3)(文化性の導入)など 	
備構想 画の調 など	<ul style="list-style-type: none"> 県土美化推進運動の展開 (県土美化推進県民会議 58.4) 魅力あるまちづくりモデル事業の推進 (魅力あるまちづくり推進委員会 58.11) 地域ぐるみ除排雪モデル事業の展開 雪に強いモデル実験住宅の建設 高等学校生徒の海外派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 21世紀の森の開園と県庁前公園花時計の完成(58.4) 上市川第3発電所の建設着手(58.9) 小矢部川流域下水道・浄化センターの着工(58.10) 県民公園・野鳥の園の整備(58.10) 北陸自動車道滑川IC・朝日ICの開通(58.12) 富山新空港の開港(59.3) 五箇山トンネル(59.3)、滑川・富山バイパス(58.12)、津沢バイパス(58.9)、高岡婦中線(58.7)の開通 神岡鉄道株式会社(第3セクター方式)の設立(59.1) 高岡交通管制センターの開所(58.4) 小杉流通業務団地の分譲開始(58.10) など 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線の着工準備作業所の開設(58.10)、沿線環境影響評価報告書案の公表(58.11)及び新幹線着工促進富山県民協議会の設置(58.10) など
建設構 センタ など	<ul style="list-style-type: none"> うまい米づくりの推進 とやま肉牛の村の育成 母なる大地づくり診断事業 特産王国づくり事業の推進 (特産王国づくり推進協議会 59.2) 文化・スポーツ産業施設整備資金制度の創設 	<ul style="list-style-type: none"> 食品研究所の開所(58.10) 薬事研究所建設基本設計の完了(59.3) 工業技術センター・技術開発館の着工(59.3) 富山産業展示館の開館(58.9) 富山八尾中核工業団地の分譲開始(58.10) 高岡地域地場産業センターの開館(58.4) 	<ul style="list-style-type: none"> 富山テクノポリス開発計画の国承認(59.3)と富山技術開発財団の設置(58.12) など
	<ul style="list-style-type: none"> イメージディレクターの委嘱 		



高齢者ゲートボール大会 (58.5.28)



県内一周駅伝競走大会 (58.10.29~30)



地域ぐるみ除排雪 (高岡市内で)

長年の経験と知恵を生かしたい

高齢者雇用促進強調月間



本格的な高齢化社会を迎えて、生きがいや健康保持などのために、働く機会を求める高齢者が増えています。また一方、生活の安定を求めて就労を希望する高齢者も、依然多い状況にあります。就労を希望する高齢者（おおむね六十五歳以上）のために、職場を確保し紹介する「高齢者無料職業紹介所」が、設置されています。しかし景気の低迷も影響して求人が少なく、高齢者の就職は一層困難な状況となっています。

このため敬老の日の九月十五日から一カ月間「高齢者雇用促進強調月間」として、高齢者の雇用や就労についての企業や地域社会の理解を深め、高齢者の雇用機会の拡大を図る運動が展開されています。

仕事は生きる支え

高齢者無料職業紹介所を通じて、今年五月から富山商工会議所ビルで守衛として働く西井さんは、大正生まれの六十五歳。十年前に三十年間勤めていた会社を定年退職。長年の経験を見込まれて再就職して、六十歳までの五年間、そこで働きました。

退職後、しばらくは奥さんと二人で海外旅行をするなど、悠々自適の生活を楽しんでいますが、二年前奥さんを病気で亡くし、全くの一人暮らしとなりました。

西井さんには二人のお子さんがありますが、長男は南米に移住、長女は結婚して大阪にいます。さびしくはないという西井

さんですが、隠居生活に耐えられず、何か仕事をしなければ、と高齢者無料職業紹介所に相談したのでした。

の九割以上が六十歳をすぎても働くことを望んでおり、また三人に一人は働ける限りずっと働くことを望んでいます。

西井さんも、年金と軍人恩給を受給しており、経済的には安定していますが、身体が続く限りは働きたいと言います。

「ゲートボールばかりやっていても面白くないし、貧乏性な人ですかねエ。」

困難な高齢者の再就職

高齢者の再就職は困難です。県が調査した年齢別の求人倍率を見ると、四十五歳未満は一・二五倍ありますが、四十五歳以上は〇・四一倍、特に五十五歳以上になると〇・一一倍。つまり求職者九人に対し、求人は実際に一人という大変厳しい状況を示しています。

ただし六十五歳未満の中高齢

者の雇用については、厳しいながらも各種の積極的な推進策が実施されています。例えば、定年延長（六十歳定年の推進、将来は六十五歳までの延長も考えられています）、法定雇用率の定着（五十五歳以上の高齢者を従業員数の六割以上雇用する義務）、高齢者を雇い入れた事業主に対する助成策などがあります。

六十五歳以上の高齢者には、雇用推進のための制度が、今のところありません。そのため、老人福祉の観点から高齢者無料職業紹介所が設けられているのです。

高齢者無料職業紹介所の業務

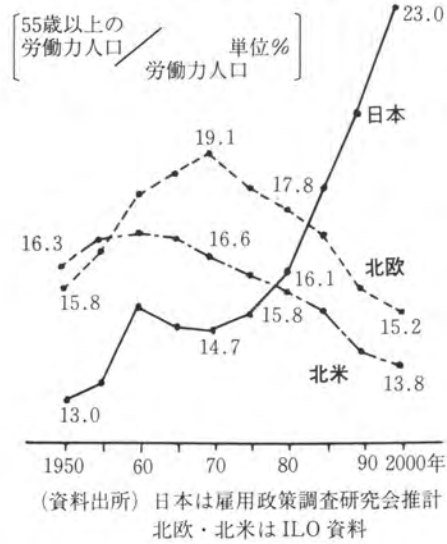
まず求人ですが、臨時の仕事など高齢者向きの仕事を受付けています。合理化の一助となる

身体が続く限り働き続けたい

総理府が、定年を間近にした五十歳代の勤労者を対象にして実施した世論調査によると、そ

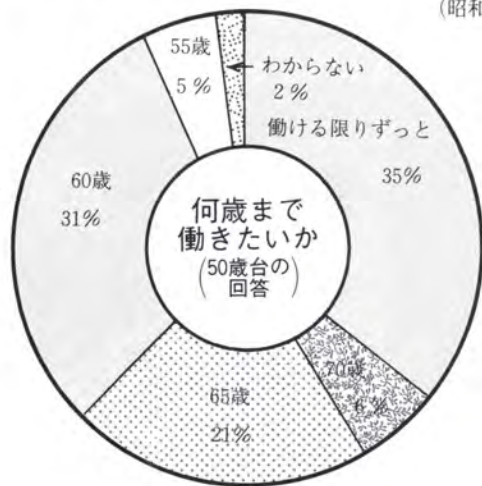
ろ

〈労働力人口高齢化の国際比較〉



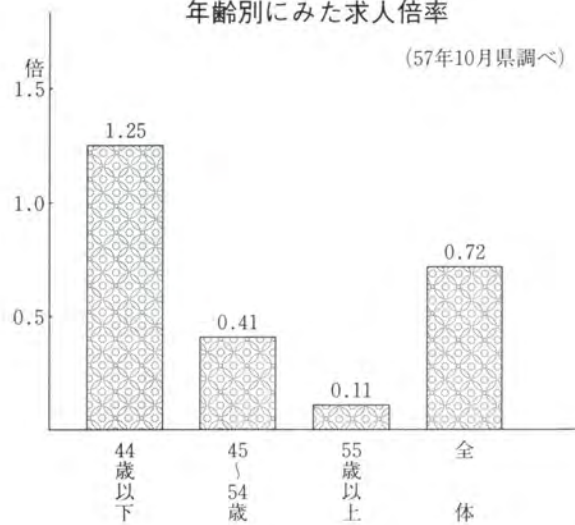
総理府「勤労者の生活設計に関する世論調査」

（昭和56年）



年齢別にみた求人倍率

（57年10月県調べ）



地域文化の向
上と心の豊かさを
求めて、砺波市と黒
部市を会場に、県民大
学秋季講座を開きます。
受講は、無料です。詳し
くは、砺波市または黒部市の
教育委員会社会教育課へ、お問
い合わせください。

こころをひらいて まなびたい

— 県民大学秋季講座 —

会 場	月 日	講 師	演 題
砺波市文化会館	11月10日(土)	版画家・小説家 池田 満寿夫	マルチ人間について
	11月17日(土)	将棋九段 芹 沢 博 文	勝負と人生
黒部市民会館	11月24日(土)	龍谷大学名誉教授 日本学術会議12期会員 武 邑 尚 邦	人間性の確認 - ヒトと人に関して -

(注) いずれも砺波会場は午後2時から、黒部会場は午後7時からです。



秋、紅葉真盛りの立山山麗にアジア・環太平洋10カ国の青年
が集う「ふれあいフェスティバル'84」が開かれます。

来年の国際青年の年に向けて、世界の青年の友
情のきずなを強め、若い力で平和で豊かな社会
を築こうと、賑やかに繰り広げます。

10月13日(土)は、夕方6時からアジア・
環太平洋の青年の団表によるパネルディ
スカッション、神津カンナさんの講演、
交流パーティーなど、同じ屋根の下
で同じ釜の飯を食べながらの交流
の集い。

10月14日(日)は、家族ぐる
みの参加で楽しい友情の集
い。盛りだくさんのゲー
ムや狂言、郷土芸能の
ステージ、そして嬉
しいバーベキュー
もあります。

— 立山山麗家族旅行村 —

ふれあいフェスティバル'84

ような高齢者に適した就労場所、
就労時間、職種が、身近にあり
ませんか。
短時間(パート)、短期間(臨
時)のものも歓迎します。ご検
討のうえ、紹介所に連絡くださ
るようお願いいたします。
今まで求人を受けた主な職
種は、軽作業、雑役、事務など
です。
求職者については、おおむね
六十五歳以上の方を対象として、
職業紹介や各種の相談を行って
います。お気軽にご相談くださ
い。

サラリーマンとして長く総務
畑を務め、管理職も経験した西
井さんにとって、はじめ守衛の
仕事はとまどいも多く、やれる
かどうか不安でしたが、福利厚
生や就業時間など勤務条件が比
較的良く、現在はこの仕事に満
足しています。
高齢者無料職業紹介所は、富
山県社会福祉会館の中にありま
す。お気軽にご相談ください。
連絡先は、富山市舟橋南町
五番十四号 ☎〇七六四(三三)
二九五八です。
また次のところで、定期巡回
相談も行っています。
・高岡市社会福祉センター(高
岡市清水一丁目七番三十号、高
岡市社会福祉協議会内)
毎週火・水・金曜日
・砺波市働く婦人の家(砺波市
栄町、砺波市高齢者職業相談
室内)
毎週木曜日
・魚津市福祉センター百楽荘
(魚津市新金屋二番地 魚津市
社会福祉協議会内)
毎週水曜日

お気軽にご相談ください

西井さんの業務は、商工会議
所ビルの受付、火元や消防設備
の点検、戸締りなどの確認など、
ビルの利用者の便宜と安全を図
る大切な仕事です。三日に一回
は、宿直もあります。



▲テナントとの連絡



▼非常口の点検

西井さんの 仕事



▲火元の確認



神岡鉄道 おくひだ号

十月一日、第三セクター方式による「神岡鉄道」が、営業を始めました。

細入村猪谷と岐阜県神岡町とを結ぶ延長十九・九キロのこの鉄道は、今から十八年前に、国鉄「神岡線」として誕生しています。

神通川の支流高原川の流域にひらけた神岡は、鉾山の町、山間地で、冬には深い雪に閉ざれることの住民にとっても、鉄道の開通は長い間の悲願でした。大量の輸送力と確実性をもつ鉄道は、鉾山資源の搬出と生活必需物資の搬入に威力を発揮します。人々の期待を拒んで開通した神岡線は、わずか二十キロたらずの区間に、なんと十四カ所、十一・八キロに及ぶトンネルと、十一カ所の橋りょうをもっています。奥飛騨の山と川を縫って走る神岡線は、五十六年の豪雪時にも一日も休まず、道路交通に比べ、雪にも強い安全で確実な交通手段として、地域の生活や産業

活動を支えてきました。

しかし国鉄の再建築として、赤字ロカル線問題が取り上げられ、地元関係者の一丸となつての存続運動も空しく、昭和五十六年秋、神岡線は廃止と決まりました。

以来、関係者は慎重に検討、協議を重ね、地元の県や町村、それに鉾山の共同出資による第三セクター方式で、輸送を継続することになりました。神岡鉄道は、岩手県の三陸鉄道に次いで、この方式では全国二番目の存続線となりました。

十月の営業開始に向け、神岡鉄道に対する理解を深め、またマイルール意識を高めようと、車両のデザインや駅名などを地元住民から募集しました。「おくひだ号」と命名されたディーゼル車のデザインは、この地方の山と川、そして第三セクターの協調性を象徴しています。

そして利用者の利便を図って様々な工夫もされました。運行時間、本数の改善、停車駅の増設、車両の内装の工夫など。

これからは、わたしたちの力で、この鉄道を大切に育てていきたいものです。

十月十日～十六日は「四十歳からの健康週間」です

きょうから始める健康づくり



▶体操で汗を流して

充実したゆとりのある人生をおくるためには、病気でなければよいといった消極的な考えではなく、「自分の健康は自分でつくる」、「自分で守る」という積極的な健康増進の努力が必要です。

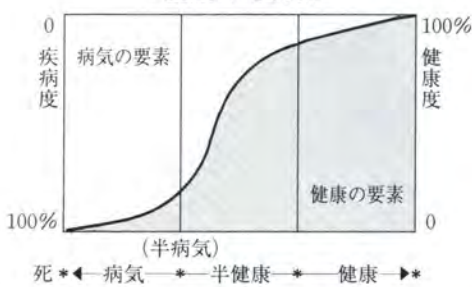
「健康づくり」をするとは、病気の方は、治療やリハビリテーションなどで健康を取り戻すように、また半健康の方（病気と健康の要素が同居している方）は、病気の予防や病気の早期発見などに努め、確実な健康を手中にすることです。いま健康な人は、健康を失わないことはもちろん、より健康を増進するようにする必要があります。つまり健康づくりとは、一人ひとりが自分の健康状態を改善するように努力することです。

働き盛りの健康づくり

四十歳代といえは、働き盛り、心身ともに十分成熟し、社会的にも充実した日常生活をおくる年代です。

しかし一方、この時期の健康状態は個人差が大きく、またからだの機能や体力もゆるやかに低下しはじめ、成人病がしのび

健康の考え方



死 ← 病気 ← 半健康 ← 健康 →

寄る時期でもあります。これからの人生を健康ですこし、健やかに老いるためにも、大切なことは、自分の健康を過信せず、健康管理に十分気を配って、積極的な健康づくりをすることです。

健康診査は

健康管理の出発点

ガンや高血圧、糖尿病などの成人病は、本人が全く気付かないうちに症状が進行している場合が多いものです。何らかの自覚症状があつてから病院を訪れるのではなく、「健康だ」と感じているときから定期的に健康診査を受け、からだの異常や病気の早期発見に努めましょう。

自分の健康状態をよく知ることが、健康づくりの第一歩です。

年代別3大成人病死亡割合

(昭和58年概数)

年代	がん	脳卒中	心臓病	その他
▶40歳代				
全国	31.2	12.5	11.8	44.5
富山	32.8	9.7	13.5	44.0
▶50歳代				
全国	39.3	13.9	13.1	33.7
富山	42.4	12.0	11.4	34.2
▶60歳代				
全国	37.3	17.3	16.0	29.4
富山	36.3	16.7	16.3	30.7
▶70歳代以上				
全国	17.9	23.8	20.9	37.4
富山	19.3	23.9	20.2	36.6

(資料) 厚生省「人口動態統計」、富山県「衛生統計年報」

年に一回は、健診を受ける習慣をつけましょう。

ます。四十歳を過ぎたら、量よりの質、栄養のバランスのとれた食生活を心がけ、肥満を防ぎましょう。

健康を守る

老化を防ぐ日頃の心がけ

◎規則正しく、リズムのある生活を

働き盛りにはなかなか実行できなにかもしれません。とにかく肝心なことは、自分の生活に合わせてリズムを作り、健康を増進させることです。

◎ふとりすぎは要注意

肥満は、高血圧、糖尿病などさまざまな成人病の要因となり

◎年相応のスポーツを

中高年齢層に適したスポーツとは、①運動の時間ややり方を加減でき、②比較的肉体に負担が少なく、③安全でケガの心配がなく、④心身ともにリラックスできるものです。

散歩、体操、ゴルフ、バレエボール、卓球、野球、テニス、ボーリングなどが手軽で適当です。また、休養や睡眠も十分とってください。



◎家族ぐるみでストレス解消

ストレスが蓄積すると、胃炎、十二指腸かいよう、胃かいよう、下痢など胃腸に出る人、どうき、息苦しさ、胸痛など心臓に出る人とさまざまです。社会生活にはストレスはつきものですが、せめて家庭にいるときはリラックスして、ストレス解消に努めたいものです。

家族ぐるみで、心からくつろげる家庭環境を作りましょう。

◎病気は慢性化しないうちに

中高年になって慢性の病気がかかると、その影響から老化を早めることは確実です。病気は軽いうちにみつければ、早目に治療しましょう。

壮年期からの健康づくりや成人病の予防など、日頃の健康管理の重要性について皆さんの理解や関心を深めるとともに、老人保健法に基づく保健事業に積

極的に参加していただくこと、「四十歳からの健康週間」が、今年から設けられました。

健康については常に深い関心が寄せられていますが、実際に積極的に健康づくりに努めている方は、意外に少ないのではないのでしょうか。

忙しい毎日をごくりしている働き盛りのあなたも、明日の生活のために自分の健康を見直してみませんか。

みんなので参加しよう

'84 とやま健康フェスティバル

10月12日～14日 県民会館

面白くて健康になるイベントが一杯

安心して再就職するために

雇用保険制度改正のあらまし

雇用保険制度が誕生して、ほぼ10年経過しましたが、その間に雇用、失業の情勢も大きく変化しました。

そこで、この情勢の変化に対応して、失業された方々の一日も早い再就職を図るため、雇用保険制度も改正され、今年の8月1日から実施されています。

失業給付とは、生活の心配なく仕事探しに専念し、一日も早く再就職をしていただくために、支給されるものです。

そのため、受給できる方は、失業中の方で、積極的に就職しようとする意志と、いつでも就職できる能力をお持ちの、求職中の方に限ります。

従って仕事をやめたら必ず支給されるのではなく、仕事探しをされる場合にのみ、そのお手伝いをするために支給されるものです。

今回の改正について、次にご紹介します。



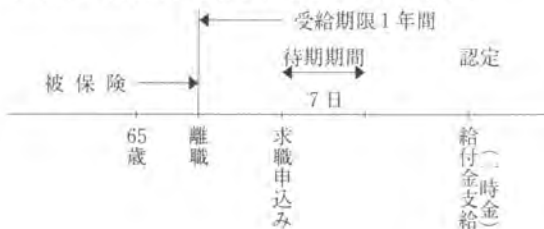
1. 早期に再就職した受給者には、再就職手当が支給されます。

給付日数の2分の1以上を残して安定した職業に就いた方には、自己就職の場合でも、失業給付日数に応じて再就職手当が支給されます。

給付日数	支給残日数	再就職手当の額
90日	45日以上	30日分
180日	120日以上	80日分
	90日以上	50日分
210日	140日以上	85日分
	105日以上	50日分
240日	160日以上	90日分
	120日以上	50日分
300日	200日以上	120日分
	150日以上	70日分

被保険者が失業した場合には、一時金として基本手当の50日分から最高150日分の高年齢求職者給付金が支給されます。

ただし、65歳の定年等で退職された方には、従来どおりの基本手当が支給されることになります。



3. 65歳以上で新たに雇用される方は、被保険者にはなりません。

65歳以上で新たに雇用される方は、今後被保険者にはなりません。昭和62年7月31日までは、本人の希望により公共職業安定所長の認可をうけて、一回に限り被保険者となることができます。失業時には、一律に基本手当の50日分が支給されます。

なお、短期雇用特例被保険者と日雇労働被保険者については、従来どおりそれぞれの保険が適用されます。

4. 定年退職者等には受給期間の延長制度ができました。

定年や勤務延長等により退職した方には、希望により最大限2年間まで受給期間が延長されます。



2. 65歳以上の方には、高年齢求職者給付金が支給されます。

65歳をこえて引続き雇用されている方(高年齢継続

5. 失業給付日数に変更になりました。

退職時の年齢と勤続期間とによって、次のとおり決められます。

年齢	被保険者であった期間		
	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上
30歳未満	90日	90日	180日
30歳以上45歳未満	90日	180日	210日
45歳以上55歳未満	180日	210日	240日
55歳以上65歳未満	210日	240日	300日
就職困難者	55歳未満	240日	
	55歳以上65歳未満	300日	

(注1) 1年未満の場合は、一律90日です。

(注2) 企業倒産で解雇された方でどうしても就職できない場合は、給付日数が延長されることがあります。

6. 失業給付金の算定基礎と給付額が見直されました。

失業給付の額は、原則として毎月の定期給与により計算され、いわゆる賞与等は除かれます。

また、全体として給付金額が引き上げられるとともに賃金の6割以上が支給される範囲も広がりました。

なお、保険料の算定にあたっては、従来どおり賞与等を含めた総賃金をもとに計算しますので、ご注意ください。

9. 不正受給者に対する罰則の強化

不正な行為で失業給付を受給した者は、以後の支給停止、不正受給額の返還に加え、その同額までの納付など厳しい処分を受けることになります。

10. 事業主に対する助成金の拡大

再就職促進のため、新たに次の事業主にも助成金が支給されます。

- (1) 定年に到達した者を、パートとして雇用延長する事業主
 - (2) 雇用保険受給者を、パートとして雇い入れる事業主
 - (3) 定年等により退職する者を、その雇用主のあっ旋により雇用する事業主
 - (4) 雇用保険受給者を対象に、3日程度の集团的講習と職場見学を実施する事業主及びその団体
- 雇用保険制度についてのお問い合わせは、県庁雇用保険課または最寄りの公共職業安定所へ。



雇用保険制度については

7. 給付制限期間は、3カ月です。

任意退職など退職の理由により失業給付の支給が停止される期間が、特別の場合を除いて、一律に3カ月となりました。

なお、再就職手当(前記1)は、この期間中の就職であっても支給されることがあります。

8. 昭和60年4月からは、保険料の免除年齢は、64歳以上となります。

現在60歳以上となっている保険料が免除される年齢が、64歳以上になります。

従って60歳から63歳までの方も、来年度からは保険料を納付していただくことになります。

ただし、65歳以上で公共職業安定所長の認可を受けて被保険者になる方(前記3)は、保険料は免除されません。

年齢	賃金日	60年3月分まで	60年4月から
60歳~63歳		免除	納付
64歳以上		免除	免除(ただし65歳以上の任意加入者は納付)



富山県雇用保険課	0764 31-4111(代)
富山公共職業安定所	0764 25-1601(代)
富山八尾分室	0764 54-2552
高岡公共職業安定所	0766 21-1515(代)
新湊公共職業安定所	0766 82-3195~6
魚津公共職業安定所	0765 24-0365~7
魚津朝日分室	0765 82-0198
砺波公共職業安定所	0763 32-2914~5
氷見公共職業安定所	0766 74-0445~6
滑川公共職業安定所	0764 75-0324-0856
小矢部公共職業安定所	0766 67-0310-1990

健康メモ ひとくち

コンタクトレンズと眼鏡

十月十日は、眼の愛護デーですが、近視、乱視、遠視など視力障害で眼鏡やコンタクトレンズを使用している方がたくさんいらっしゃいます。特に最近では、コンタクトレンズを使う方が多くなりました。光学的には、眼鏡に比べてかなりすぐれているためです。

第一に角膜の表面がデコボコになっている不正乱視などの矯正もできます。第二に角模に密着しているため、周辺が歪んだり、大きくなったりが小さくなったりに見えることがないことです。

第三に近視の場合は弱度のレンズでよく、眼鏡の使えない強度の近視でもコンタクトレンズなら使えます。

す。その他に、くもらないとか、使っていることが目立たないという利点もあります。

ただし取扱方法が少々面倒で、誤ると眼を傷つけ、ひどい場合には失明することもあります。レンズを常に清潔に保つこと、着脱の際、手指はよく洗うこと、変だと思ったらすぐにはずすことなどが必要です。

また長時間の使用はさけ、ソフトコンタクトレンズなら十六時間、ハードなら十二時間を限度にします。使う人の事情にあわせて、眼鏡にするかコンタクトレンズにするか決めてください。ただし、どちらにしてもかならず眼科医の検査と指導を受けましょう。

この「くらしの情報コーナー」では、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています。原稿の送り先は、
千九三〇 富山市新総曲輪一番七号
富山県知事公室広報課
「くらしの情報コーナー」係まで

サトイモ

サトイモは、比較的カルシウムが多く、他のイモに比べると味は淡白で、味噌汁の実、ゴマ合せ、田楽、煮物など、甘くも辛くもいろいろに調味できる手頃なものです。また皮付きのままよく洗って蒸して作る「衣被」は、秋を感じさせる素朴な一品です。

サトイモは、インド原産のタロイモの一種で、ミズバシヨウやコンニャク、カラジウムなどと同じ仲間です。イモの部分が茎で、茎に見えるところが葉の柄です。暖かい地方では、ミズバシヨウの花を細長くしたような花が咲くそうです。春先に種イモを植えると、夏には背たけほどにも成長します。

多くの場合、子イモ、孫イモを採るために栽培しますが、親イモを採るヤツガシラや、葉の柄を採るアカズイキなども作られています。また



とやま味の旬

水盤で小さく育てて、観賞用にすることもあります。

イモには強いねばりとえぐ味があります。酢を少々落した湯で下ゆですると、かなり消えます。皮をむくとき手がかゆくなるのは、えぐ味の成分、ホモゲンチジン酸という物質のため、手に塩をつけてからむくと防げます。

長くのびた葉の柄(ズイキ)は、酢物にしたり、干して保存食にします。富山では、「三日の団子」といって、産後三日目の朝に、産婦に米の粉の団子と干ズイキをカツオ節のダシの味噌汁に仕立てて食べさせる風習があります。お産の悪い血を流し、母乳の出をよくするといって、隣近所や親類にも配って祝います。

サトイモも最近では便利になって、皮をむいて水に晒してあるものや、水煮して冷凍したものがありますが、秋には地元産の新しいサトイモが出来ます。滑川、上市、井波、福野が特産地に指定されていて、関西方面などにも出荷しています。

掘りたてのサトイモで、あなたも秋を味わってみませんか。

自然と動物と散策と 緑の中でゆつくり一日 ファミリーパーク

富山市古沢地区の城山(医科薬科大学の北側)の一角に、ファミリーパークがあります。

自然の状態で動物が見られるように設計された動物園(六十七種類)や遊園地、広場などを備えた公園です。動物園では、中国遼寧省から送られたマローヤやブラジル産のカピバ

ラが子供たちの人気を集めています。二十九畝の広さの中で七十種が自然の樹林や池となっており、緑や水を保全しながら、一日ゆっくり過ごせる場となっています。

まちからむらから



動物は子供と大の仲よし

入園料	個人	団体(30人以上)
大(高校生以上)	500円	300円
小(小・中学生)	200円	100円

駐車場使用料(収容台数 960台)	
大型自動車	1,000円
普通自動車	300円

- 開園期間 3月15日～12月14日
- 開園時間 午前9時00分～午後4時30分
休日は毎週月曜日、月曜日が祝日の場合は翌日が休日となります。

ファミリーパークの電話は
(0764) 34-1234

暮らしのメモ ひとくち

ホーム・フリージング

ムダなく効率的に材料を使ったり、季節の味を保存するにはホーム・フリージングが便利です。手近なものからはじめてみませんか。

- 1 小さく、薄く、平らにする。
短時間で冷凍することが食品の美味さを保つ秘訣です。フリージング中はできるだけ冷凍庫のドアを開けないようにしましょう。
 - 2 熱いものはよくさましてから冷凍庫へ。
 - 3 空気を抜いて、ぴったり密封する。
 - 4 再冷凍は味、栄養がおちてしまう。
- 必要な量だけ取り出せるように小分けするか、一つずつの間にラップをはさんで冷凍しましょう。
- 5 保存期間は三カ月間がめやす。
(素材に合わせたフリージング)
- 肉類
味の点でも、衛生の面でも新鮮なものを使うのがポイント。脂肪分の多い肉は冷凍に向きません。下味をつける。衣をつける。軽く火を通すなどの下処理をしてから冷凍した方が、味のおちるのをカバーできます。
 - 魚類
生魚は新鮮なもの以外、ホーム・フリージングは不向きです。内臓やえらを処理して、ラップに一匹ずつ包みます。大きい魚は三枚におろしましょう。しょう油やみそなどで下味をつけるか、煮魚にしてから冷凍する方がおいしく食べられます。
 - 野菜・果物
野菜は冷凍に不向きといわれますが、薬味類は生のまま冷凍できます。あとは堅ゆでにしたり、すりおろしたりすることによって冷凍が加能になります。果物は、砂糖をまぶしたり、シロップに漬けたりして冷凍します。

8月16日～9月15日

8月18日

☒北方領土返還要求県大会

県庁前公園で、第3回北方領土返還要求県大会が開かれました。県、市町村、各種団体などの代表約200人が出席。炎天下、一日も早い返還を求めて、今後も粘り強く運動を進めようと言いました。

このあと全員で、西町交差点まで街頭行進し、運動への結集を呼びかけた。

8月18日

☒遼寧省とスポーツ交流

友好省遼寧省のスポーツ交流団が来県しました。一行は、季世明団長他35人で、男子サッカーチームと女子バレーボールチームで編成されています。選手は、15才から18才の高校生を中心とした若者で、県内の高校チームと親善試合を行って、交流を深めました。

8月22日

☒花と緑のマスタープラン

県緑花計画策定委員会が開かれ、「日本一の花と緑の県づくり」を目指す富山県の基本計画、クリーンプランを策定しました。

この計画は、花と緑を進める、花と緑に親しむ、花と緑をつくる、花と緑を育てる、の4つの計画を柱に地域緑化グループなどによる身近なところからの花と緑の普及を図り、県民総参加の県土緑化を目指しています。

8月23日

☒高岡で知事と語るつどい

開かれた県政を目指して、知事が直接県民の方々と話しあう「知事と語るつどい」が、高岡市で開かれました。伏木外港計画、運転教育センターの設置など、多くの意見・要望が出されました。

また22・23日の両日、高岡市内の企業や公的施設を視察しました。

8月23・24日

☒テクノポリス現地視察会

県と八尾町、それに地域振興整備公団は、富山テクノポリスのPRと企業誘致のため、県外企業を招いて現地視察会を開きました。

出席したのは、11社。説明会の後、テクノポリス関連施設、八尾中核工業団地などを見学しました。

9月1日

☒和漢薬診療始まる

自治体病院としては全国で2番目の和漢診療室が、県立中央病院に開設されました。

既存診療科との連携のもとに、和漢薬を中心として西洋医学と東洋医学の、それぞれの長所を生かした診療を行います。

現在のスタッフは、医師3名、薬剤師3名、看護婦2名の8名です。

日曜、祝日を除く毎日8時半から11時までが受付時間ですが、他の医療機関の医師の紹介、又は当病院で診療中の方に限り受診できます。

9月4日

☒高岡市で県総合防災訓練

8月30日からの1週間は、防災週間です。9月1日の防災の日を中心に、全国各地で防災に関する各種の行事が繰り広げられましたが、富山県内でも様々な防災活動が行われました。

この日、県と高岡市が主催して、総合防災訓練が実施されました。駅前地下街や伏木石油基地などを会場に、防災関係機関、地域住民あわせて35,000人以上が参加して、本番さながらの大規模な訓練を実施しました。

9月4日

☒第一回緑花推進県民会議

県民主体の花と緑の県づくりを目指して、その推進役となる県民会議



▲伏木石油基地で実地訓練

が初めて開かれました。

緑花運動のリーダーとして県内各層から選ばれた108名の委員は、先に策定されたグリーンプランを県民総ぐるみで進め、日本一に挑戦することを確認しました。

9月5・6日

☒富山市で知事と語るつどい

2日間にわたって富山市を対象地域に、知事と語るつどい、まちまわりが行われました。

知事一行は、中央卸売市場、農業センター、老人福祉センターを視察しましたが、卸売市場では関係者約100名と懇談。また市民健康センターでも市民と直接意見交換を行いました。

県民に向けて開かれた県政を目指して、昭和56年度から始まった県下各市町村を単位とした、知事と語る集い、まちまわりも、これで一巡したことになります。

9月6日

☒バイオテクノロジー・シンポジウム

21世紀の新技术として注目されているバイオテクノロジーの権威を集めて、シンポジウムが開かれました。富山の産業の将来を担う技術として、テクノポリス建設の最も重要なものです。産官学協同で人材を育て、地道に研究を重ねることが大切であるとの指摘がありました。

9月7日

☒ジャコモ・マンズー展

現代彫刻の巨匠、ジャコモ・マンズーの作品120点を一堂に集めた展覧会が、県立近代美術館で開かれました。

マンズー展は、日本では10年ぶり、最新作も多く出品されており、ろう型を使用した肌のぬくもりまで伝わるような彫刻に、話題が集まっていました。(10月21日まで)

9月11日

☒9月定例県議会始まる

9月定例県議会が招集されました。午前9時からの本会議で、会期を27日までの17日間と決め、一般会計補



▲友好スポーツ交流、サッカー



▶ユニークな和漢診療室

正予算案、情報教育センター条例制定案など一括上程し、知事が提案理由を説明しました。

9月12～14日

☒全国広報広聴研究大会

都道府県や市町村などの全国の地方自治体の広報マンが一堂に集う、全国広報広聴研究大会が、県民会館で開かれました。

県のイメージディレクターから高野悦子氏ら4名を講師に招いて「いきいき富山で語ろう、創意と工夫の広報広聴」のテーマのもと、全国から集まった約1,100名の参加者は、熱心に研修しました。



新鮮さが命

大沢野イチジク

シリーズ6

特産王国 とやま

野に山に、豊かな実りの季節が訪れました。甘くて、ほんのりなつかしい香りのするイチジクも、私たちの食欲をそそる、みずみずしい秋の果物の一つです。大きな葉の間から、パツクリと赤い口を開けた実をもぎとると、白い乳状の汁がほとぼしりします。この乳汁は、痔や回虫駆除にきくといいいます。

昔からよく農家の庭先などに自家消費用に栽培されてきたイチジク。これを大沢野町の特産物にしたのは、減反政策がきっかけでした。つまり古くて新しい作物、イチジクというわけですが、付加価値の高い転換作物として、イチジクに着目した町と農協では、積極的な奨励策を展開しました。主産地の愛知県に農家の人々を派遣したり、新品種を導入したり、土地にふさわしい栽培法を研究したり……。

そして六年たった今、その努力が実を結び始めています。なんと反当たり収益が、米の三倍を超える農家も出てきたといわれています。

現在、四十六戸、五畝で栽培が行われています。近い将来、七畝に拡大し、生産性も先進地

愛知に負けない程に高めようという町ではいきこんでいます。

枝を折り幹を裂く雪害と、葉ずれを起こす大沢野特有の南風が、大敵です。農家のお年寄りや女たちが、手間をかけてイチジクを守り育てています。

ところで皮が薄く、実の柔らかいイチジクは、保存が効かないのが欠点です。摘取り後二日間が、おいしさの限度。ですからここでは県内にしか出荷していません。県外産は、価格は安いですが、その新鮮度も味も落ちていきます。

ところで、大沢野ではイチジクを使ったお菓子も作られています。最中、羊羹、イチジクジャムをはさんだカステラなど。

イチジクは、リンゴやナシ、カキなどに比べると糖度はやや低いのですが、カルシウムやたんぱく質に恵まれ、沢山食べてもふとる心配はありません。

また胃腸を整え、便の通じを良くし、酒毒を消すともいわれています。

「もつと若い女性にも食べてもらいたいですね。」と産地では、言っています。



収穫はていねいに

お知らせ

●「やさしさを隣人に」共同募金に御協力
赤い羽根で親しまれている国民助けあい共同募金も、今年で38回を数え、全国一斉に、10月1日から12月31日まで、3ヵ月間にわたって行われています。

この共同募金運動によって寄せられた寄付金は、民間の社会福祉施設や団体などに配分され、からだの自由な人たちが身寄りのないお年寄りたちのために、使われることになっています。

一人ひとりの善意はわずかでもたくさんの方の善意が集まれば大きな力となります。

皆さんの御協力をお願いします。

なお共同募金についてのお問い合わせは、最寄りの市町村共同募金会または富山県共同募金会（〒930 富山市舟橋南町5番14号 ☎0764⑨9800）

●昭和59年度第2回理容師・美容師試験
富山県では、理容師及び美容師の学科試験を11月5日(月)、実地試験を11月26日(月)に実施します。

願書の受付は、10月5日から10月19日まで、県内受験者は住所地を管轄する保健所で、県外受験者は、県庁厚生部環境衛生課で行っています。

なお、詳しくは、最寄りの保健所または県庁環境衛生課（☎0764⑨4111）へお問い合わせください。

●第1回あわすの平ゴンドラリフト写真コンテスト
春はハイキング、夏はキャンプ、秋はテニスに紅葉狩り、冬はもちろんスキーにと、皆さんのスポーツ・レクリエーションの場として大人気の立山山麓あわすの平。

四季折々に美しく装いを変えるあわすの平を、あなたのカメラでとらえてみませんか。県企業局では、皆さんの思い出の写真、自慢の作品をお待ちしています。

(1) 題 材 ゴンドラリフトを中心としたあわすの平一帯の風景、スナップ、催し物などを主題したもの。

(2) 部 門 スキー部門、風景部門、ファミリー部門

(3) 規 格 カラープリントサービス判（ネガも添付のこと。）

(4) 応募資格 特になし

(5) 締 切 り 昭和60年2月28日(木)（当日消印有効）

(6) 送 付 先 〒930 富山市舟橋北町4番19号 富山県企業局総務課企画開発係（氏名、住所、電話番号、職業及び部門別を記載してください。）

(7) 発 表 最優秀賞1点、優秀賞15点、特別賞5点 昭和60年3月中旬に、ゴンドラスキー場山麓駅構内で展示、発表します。賞品も盛りだくさん、ふるってご応募ください。

なお、優秀作品はゴンドラスキー場のイメージアップのための広く活用させていただきます。

●花と緑のポスターと標語決定
昭和60年度の花と緑の普及のために、県内の小中学生及び高校生から募集していたポスター原画と標語の審査が行われました。

(1) ポスター原画入賞者
特選 安田猛彦(立山中央小学校5年)、1等 山本智昭(小見小学校1年)、宮田尚也(富山第一高等学校3年)、2等 富山朋子(四方小学校3年) もりひろたか(大沢野小学校4年) 米道美和子(庄川中学校1年)、佳作 葛西由希子(太閤小学校2年) 他10名

(2) 標語入賞者
特選 宮本実香(大門小学校3年)、1等 増山友英(月岡小学校5年)、米沢淑子(新庄中学校2年)、2等 水野基(山室小学校4年)、四十物伸恵(田中小学校4年)、竹内真紀(上庄小学校5年)、佳作 大橋央(田中小学校3年) 他11名(以上敬称略)

なお、表彰式は、今月末に行う予定です。
「花と緑にかこまれて、心も体もさわやかに」 (特選の標語)

10月街頭献血日程

月日曜	場 所	場 所	月日曜	場 所	時 間
10/1(月)	湯中町役場前	10:00~15:30	10/19(金)	新湊市役所前	10:00~15:30
5(金)	城南町役場前	10:00~15:30	20(土)	砺波市ジャスコ前	10:00~15:30
6(土)	富山駅前	10:00~16:00	20(土)	魚津市サンブラザ前	10:00~15:30
8(土)	高岡駅前	10:00~15:30	21(日)	富山市中央通り前	10:00~16:00
7(日)	黒部市メルシー前	10:00~15:30	25(木)	朝日町職工会館前	10:00~15:30
11(木)	小矢部市役所前	10:00~15:30	27(土)	富山駅前	10:00~16:00
13(土)	富山駅前	10:00~16:00	27(土)	高岡駅前	10:00~15:30
13(土)	高岡駅前	10:00~15:30	28(日)	高岡駅前	10:00~15:30
14(日)	富山西武前	10:00~16:00			

県政についてのご相談は県民相談室へ

県 民 相 談 室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎富山31-4111(代) 31-3131(県民電話)
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎高岡21-9411
魚津地方県民相談室	魚津新宿10-7(総合庁舎内) ☎魚津24-5311
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎砺波33-5151

***** 県広報はあなたと県を結ぶパイプ役 *****

富山県では、この「県広報とやま」のほかテレビ、新聞などの媒体を活用して、県の施策の紹介や暮らしの情報を提供しています。

〈テレビ広報〉
KNB「こんにちは富山県です」
毎週日曜日 午前8時～8時30分
富山テレビ「110万人のひろば
——クイズ/フォーカスイン——」
毎週日曜日 午前9時～9時30分

〈新聞広報〉
○北日本、富山、読売、北陸中日
毎月第2土曜日「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日「みんなの県政」
○朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日「県からのお知らせ」

薬と健康の週間10月17日～23日

正しく使って
健康に：



富山県知事選挙



10月28日(日)は投票日!

子供が見ているあなたの一票

(石動小学校6年 山崎ひとみ)